

○「農業振興担当実務者と農業委員との合同会議」

(農業技術者協議会:丹後地域部会)(平成30年度10月開催)

担い手への
農地利用の
集積・集約化

遊休農地の
発生防止・
解消

新規参入の
促進

その他
(農業委員会の
体制強化等)

1 活動の日時や時期、場所等

- 日時(時期): 平成30年10月16日 午前10時~11時
- 場 所: 京丹後市役所丹後庁舎
- 出席者: 農業委員1人、最適化推進委員1人
委員以外6人(府、市、JA実務担当者)
- 報告者: 石嶋政博 農業会議現地推進役



2 地区の特徴、状況、課題

- 竹野川両岸の水田地帯と沿岸の水田農業が中心
- 大規模経営法人と担い手農家による水田経営が展開されている
- 宇川地域で再び場整備事業がスタートして受けて法人の設立が課題

3 課題解決に向けた活動(農地利用の最適化推進の取組と工夫)

- 日方農業委員と金羽推進委員から、丹後地区定例会の活動概要報告と利用状況調査結果について報告
- 成願寺地区の新規就農候補者へのプラン策定検討を打診している状況の報告(10/24開催決定)
- 上宇川地区のほ場整備事業と受け手法人の設立など丹後町域の検討課題とするべきと提案有り

4 活動結果

- 情報・意見交換 1 時間
- 担い手への集積 a 増加
- 遊休農地面積 a 解消
- 新規就農者 人 支援